

# 《三洋電機が1100人に配転、希望退職打ち出す！》 「結局、辞めてほしいということか...」

三洋電機では、7月31日、会社より組合に「構造改革」の名目で、業務用空調機器や住宅設備関連商品、サービスなどを手がける「コマーシャルカンパニー550人、キャパシタや光ピックアップなどを手がける電子デバイスカンパニー300人、全社管理間接部門250人、合わせて千数百人の大規模な配置転換が申し入れられました。これらの対象職場では同時に、「特別キャリア支援」と称する希望退職の募集も実施されます。

すでに、この2月に半導体部門に、3月には営業分野などに同様のやり方で配転・希望退職が実施されており、職場では「またリストラか、いい加減にやめてほしい」との声とともに、この9月にもパナソニックの子会社化が言われている直前の大量配転、希望退職というところで「パナソニックからの要請では？」、「業績は回復基調なのに「筋肉体質」になるためのリストラを行なうなんて、労働者をなんと思っているのか」との声も上がっています。

大規模な配転や退職は労働者の生活にも地域社会にも大きな影響を及ぼします。従業員の雇用を守りながら、社会に貢献するといった大企業としての社会的責任を三洋電機は果たすべきです。

パナの子会社化が発表されてから間接部門の合理化がいつかは...と思っていた。しかし、何故今なのか。人を切って当面の利益を確保する経営姿勢だけで将来が切り開けるのでしょうか。(守口)

またか！という感じで気分が悪い。会社は説明するに当たって「組合のピラに書いてある通り」などとふざけた態度だし、組合は組合で4月からの5%賃下げを受けたばかりなのに「リストラ阻止」の気概もない。「三洋よりパナの方が厳しいで」と言う人もいるし、9月になったらどうなることやら(大東)

関連する事業部がどんどん縮小され、このままでは開発した技術の受け入れ先が無くなるのでは？近い将来、本部も解体？組合はいつになったら毅然と対応するのか(枚方)

派遣がいなくなり技術も製造に入って生産している。なのに今度は配転や削減と言われたのでは、将来不安が大きくて仕事が手につきません(鳥取)



### 組合は全力で対応を

会社の提案に対して組合が毅然とした対応をすることを労働者は望んでいます。仮に今回の申し入れが実行されたとしても、次のことが大切です。

2月の半導体部門のリストラの際、組合は「非自発的退職者を絶対に出さない」との姿勢を打ち出しました。労働者が家庭の事情で転勤に応じられない場合や余りにもスキルの合わない配置転換を言い渡された場合など、退職強要に等しい配置転換に対しては、本人の意向をよく聞き、組合が前面に出てきっぱりと配転を中止させることが重要です。労働者を守るため全力を尽くしましょう。

半導体の希望退職で500人くらい退職したのに、今度はコマーシャルで希望退職550人募集だって。かつては1万人以上いた工場が半分以下になっちゃうよ。三洋電機がこうなったのは、リストラをやりすぎて会社と社員の信頼関係が希薄になり、言われたことしかやらないヒラメ社員が増えたからだと思うよ。(群馬)

発行者：電機労働者懇談会  
〒108-0073 東京都港区三田 3-2-20  
Tel: 03-3455-6006 FAX: 03-3451-3595  
編集：三洋電機労働者懇談会  
発行 2009年8月 (号外)

Electric Labor and Industry Correspondence  
**ELIC**  
(三洋電機版)

退職強要をうけたら ご相談を  
**電機ユニオン**  
電話：03-3455-6006 (東京)  
090-9714-8780 (関西)  
メール：info@denki-union.org

会社の都合ばかり

言わないで

労働者の生活もかんがえて!!

# 闘って、リストラをハネ返しましょう

三洋電機は、今回の大量配置転換、希望退職の理由に、関連カンパニーでの製造を海外に移す計画とともに、「三洋電機としての戦略機能の強化と筋肉質化の両立」などを理由に挙げています。しかも、会社が9月の業績予想を上方修正した直後のこのリストラです。いずれの理由も、パナソニックの意向を気にした会社が自らの都合ばかりを優先するもので、労働者には責任はありません。それも、大量配転と同数の希望退職ワクを想定するなど、まるで「辞めてください」と言わんばかりの配置転換です。労働者には生活がかかっています。会社の言いなりになっているだけでは生活も雇用も守れません。みんなで力をあわせて闘い、リストラをハネ返しましょう。

あなたのガンバリが あなたと家族を守ります

## 退職強要をハネ返す4ヶ条

「私はこの会社に残ります」この一言があなたと家族を守ります。

それでも会社が「同意」をせまってくれば「これ以上の説得や面談はやめてください」ときっぱりといきましょう。

「同意するまで」何回も面談する「応じなければ仕事はない」などと迫れば違法です。「労働基準監督署か弁護士に相談します」といきましょう。

「会社は大変」と言われたら、「私の生活も大変」と答えましょう。

## 《 転勤・配転に「ノー」と答えるための5章 》

### 「行きたくない」は正当な理由

行きたくない、と思うすべての理由は正当です。他人(会社)が正当か否かを判断することは誤りです。

### 生活の危機を主張しましょう

「配転がいやなら辞めてください。残っても働く場はありません」には「辞めません、会社の都合ばかり言わないでください」と答えましょう。仕事を守り家族を守るのは労働者として当然です。

### 長年働いてきたことを主張しましょう

長年、苦勞して積み重ねてきた知識・技能、人間関係などが水泡に帰してはたまりません。

### うまく言えないときは、だまりましょう

うまくしゃべれない、自信がないときは、いろいろ言われてもだまっています。

### ひとりで悩まず、多くの人と相談しましょう

一人で悩んでもいい知恵はでてきません。労働組合や信頼できる仲間、地域の民主団体等などに相談しましょう。

退職強要をうけたら、ひとりで悩まず、相談を  
電機労働者懇談会・関西電機労働者懇談会へ!!

電話：03-3455-6006(東京) 06-6354-7237 または 090-9714-8780(関西) メール：denkikon@jcom.home.ne.jp

『電機労働者懇談会』は、電機労働者の生活と権利をまもるために討論し交流する組織として1988年6月に全国の電機の職場で働く仲間が、正規・臨時・パート・派遣の区別なく自主的に結成したもので、三洋電機でも『三洋電機労働者懇談会』が結成されました。会は機関紙として、情報誌『ELIC』(月刊1部100円)を発行しています。